

東京大学-アジア女性大学合同サマープログラム(於 東京大学)

"Growing Up as/with Immigrants and Refugees"

(移民・難民として／とともに、生きる、成長する)

募集要項

2025.5

【留意事項】

- (1) 募集に関する情報・応募書類等は一部変更される場合があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合もある。よって、最新情報を必ず次のウェブサイトで確認すること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-oncampus-utokyo-auw-summer.html>

- (2) 本プログラムは UTokyo Global Unit Courses*の一環として実施される。

*UTokyo Global Unit Courses (UTokyo GUC) は、[東京大学グローバル教育センター \(UTokyo GlobE\)](#) が提供する海外の学生向けの短期受入プログラムである。世界中の優れた学生が登録するこのプログラムには、東京大学の学生も参加することができる。受講修了者には東京大学グローバル教育センターが発行する「グローバル・ユニット」が付与される(所属学部等が認定する通常の単位は付与されない)。なお、東京大学-アジア女性大学合同サマープログラムに参加するのは、アジア女性大学と東京大学の学生のみである。

- (3) 本プログラムは、一般財団法人ファーストリテイリング財団からの支援のもと実施される。

1. 概要

戦争・内乱・弾圧・経済格差・気候変動などによる移民・難民の増加がグローバル規模の危機をもたらしている現在、本プログラムでは東京大学とアジア女性大学(AUW)(※1)の学生が共に集い、移民・難民を含む多様な人々が平和に共生する社会を構築する方法について考える。移民・難民についての議論はしばしば労働をめぐる展開されがちだが、本プログラムでは主に学校教育や地域コミュニティでの生活、文化やメディアを通して移民・難民として／とともに生き、成長する子供や若者の様相に焦点をあてる。

AUWからの参加者には自らが移民・難民として生きてきた学生が多く、東京大学の一般学生とは属性や背景が大きく異なる。そのような学生たちと時間をともにしながら、移民・難民として／とともに生きる、成長することの意味、それに伴うさまざまな課題について学び、議論する。以下のようなテーマについて、東京大学内外の専門家(※2)による講義やディスカッション、学外へのフィールドトリップなどのアクティブ・ラーニングを中心としたプログラムとなる。また、期間中に複数回、バングラデシュの情勢やベンガル語について学ぶレクチャーが設けられる。(同時間帯、AUW生は日本語の講座を受講する。)

- ・アジア・日本から／へ／内での移民・難民 — 背景・構造・課題
- ・学校・大学における移民・難民 — 教育現場における受け入れと共生
- ・家族・宗教・コミュニティ — 移民・難民のアイデンティティの継承と変容
- ・文化とメディア — 移民・難民をめぐる／による表象や言説

プログラムの終わりには学生と学内外の関係者が参加するシンポジウムを開催し、プロジェクトの成果を共有する。プログラム終了後には、参加者へ修了証が授与される。

また、授業やシンポジウム以外に、東京近郊への日帰りのエクスカージョンや文化体験、ファーストリテイリング財団役員との面談・同財団でのワークショップも予定している。プログラム期間中、公式セッションの無い時間には、AUWの学生と東京の街を自由に散策し、一緒に文化施設等を訪問したり、食事をともにしたりすることができる。

※1 アジア女性大学(AUW):バングラデシュのチッタゴンにあり、女性の教育とリーダーシップの涵養を目的として2008年に開学した。バングラデシュ、インド、ブータン、アフガニスタン、ミャンマー、シリアなど南アジアを中心に、主に「ファーストジェネレーション」(家族の中で初めて大学に行く世代)の優秀な女性にリベラルアーツ教育を提供している。 ウェブサイト: <https://asian-university.org/>

※2 授業担当予定者（授業担当予定順）：

- ・彦谷 貴子（東京大学 グローバル教育センター 教授）
- ・Ayan Saha (AUW Assistant Professor)
- ・村山 真弓（独立行政法人日本貿易振興機構 アジア経済研究所 理事）
- ・高橋 史子（東京大学 大学院総合文化研究科 准教授）
- ・矢口 祐人（東京大学 副学長／グローバル教育センター長／大学院総合文化研究科 教授）
- ・Iris Issen（お茶の水女子大学 基幹研究院人間科学系 助教）
- ・Hee Eun Kwon（東京大学 東京カレッジ ポストドクトラルフェロー）
- ・永吉 希久子（東京大学 社会科学研究所 教授）
- ・小原 優貴（東京大学 グローバル教育センター 准教授）

プログラムコーディネーター：

- ・吉原 真里（東京大学 グローバル教育センター 副センター長・教授／ハワイ大学マノア校 アメリカ研究学部 教授）
- ・下山田 翔（東京大学 グローバル教育センター 特任講師）

2. 期間

2025 年 7 月 28 日(月) ～ 8 月 7 日(木)

(8 月 3 日(日)は授業等のプログラムは実施しない)

3. 募集人数・対象者

学部学生 12 名

※[国際総合力認定制度 Go Global Gateway \(GGG\)](#) のオンデマンド基礎講座の受講（動画の視聴と確認テストへの回答）を完了していることが必須。

4. 費用

18,000 円

（講義受講料のほか、日帰りのエクスカージョンやシンポジウムでのレセプション参加費などを含む）

※プログラム参加決定者は採択後に指定された方法で支払うこと。詳細は採択後に通知する。

※このほか、プログラム外の活動等により発生する交通費等の費用は参加者負担とする。

※やむを得ず講義やエクスカージョン等に不参加となった場合でも、返金は行わない。

5. 募集からプログラム終了後までのスケジュール（予定）

6 月 2 日(月) 17 時	本部国際教育推進課への問い合わせ締切
6 月 4 日(水) 17 時	応募締切、国際総合力認定制度オンデマンド基礎講座の受講締切
6 月中旬～下旬	選考・結果通知
6 月下旬～7 月中旬	事前オリエンテーション(対面) 1 回
6 月下旬～7 月中旬	AUW の学生との交流セッション(ハイブリッド) 1 回
7 月 28 日(月)～8 月 7 日(木)	プログラムの実施(※1※2)
プログラム終了後	事後課題 提出 (※3)

※1:本プログラムは東京大学本郷キャンパス等で実施する。

※2:プログラム期間中のタイムテーブル(予定)は本要項末尾の「(参考資料)プログラムのスケジュール」を参照すること。

※3:本プログラムへの参加は、[国際総合力認定制度 Go Global Gateway](#) の認定要件の1つである「④海外体験」にカウントされる。他の認定要件を充足している者については、プログラム終了後に認定申請することを推奨する。

6. 応募資格・要件

以下の要件をすべて満たすこと。

- (1) 国際総合力認定制度 (Go Global Gateway, GGG) におけるオンデマンド基礎講座の受講 (動画視聴と確認テストへの回答) を完了していること。受講の所要時間の目安は約 100 分。
オンデマンド基礎講座: GGG ウェブサイト <https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/ggg.html> から受講
- (2) 中級程度の英語能力 (Common European Framework of Reference for Languages (CEFR ※) の B1~B2 レベル) を保持していること。何らかの英語能力の証明書を提出することが望ましいが、所持していない者も応募できる。ただしその場合は、CEFR の基準を確認の上、応募すること。
※文部科学省 (各資格・検定試験と CEFR との対照表):
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/091/gijiroku/_icsFiles/afieldfile/2018/07/27/1407616_003.pdf
- (3) 応募時およびプログラム参加期間を通じて、本学の学部正規課程に在籍していること (プログラム期間中に卒業等により本学学籍を失う者は参加できない)。
- (4) 本プログラムに参加するにあたり、本学の授業履修に関して特別な配慮はないことを理解し、本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を応募前に十分確認し、全日程参加が可能な場合のみ応募すること。なお、本学からの参加可能人数には上限があり、選考後に辞退すると他の学生の機会を失うことにつながるため、応募後の辞退は原則として認められない。
- (5) 所属学部において、本プログラムへの参加により授業または試験に出席できない場合でも特別な配慮措置は取られず「欠席」扱いとなること、また、欠席による追試験の申請理由にもならないことを理解すること。なお、詳細は所属学部を確認すること。
- (6) 本プログラム参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに応募することを事前に報告し、了承を得た上で UTAS 申請画面の所定欄に了承を得た日付を記入すること。該当する教員等がない場合は、「指導教員なし」と入力すること (7. 応募方法・応募書類(3))。
- (7) 海外大学からの学生との授業の受講、英語学習、異文化体験に興味を持っていること。

7. 応募方法・応募書類

- (1) 本プログラムは海外への派遣を伴わないが、応募は学務システム (UTAS) の「海外派遣」機能を通じて受け付ける。応募締切日時までに UTAS からの電子申請を完了させること。

◇ 応募締切以降、電子申請システムは閉じられ、申請は一切受け付けない。また大きな不備 (特に募集要項や UTAS 電子申請画面に表示される青字の説明に沿っていない不備) のある申請は締切前に申請を完了しても受理されない可能性があるため、余裕を持って書類を作成・確認し、応募すること。

- (2) 本プログラムは UTokyo Global Unit Courses (GUC※) の一環として実施されることから、応募に際しては GUC への出願に必要となる以下の書類の確認が求められる。これらの書類は、本募集要項とともに掲出されるリンク先、または、7. 末尾の【応募書類指定書式のダウンロード先】よりダウンロードすること。

※UTokyo GUC: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-oncampus-guc.html>

◇ Consent Form (PDFファイル) :

内容を確認のうえ、記載内容について了解する旨と氏名・日付を「15. Consent Form」の欄に記入すること。

◇ Terms and Conditions (PDFファイル) :

内容を確認のうえ、「16. 募集要項、GUC Program Terms and Conditions に記載の事項について」の欄に「はい」と入力すること。

- (3) UTAS 電子申請画面に表示される指示・説明をよく確認し、その通りに入力すること (以下は特に注意が必要な項目)。

- ◇ 「2. 基本情報」および「4. 家族等関係者の連絡先」は申請画面では記入・変更できない。そのため記入または変更が必要な場合は、応募時の所属学部を担当係に記入・修正方法を確認し、正しい内容を記入した状態で申請すること。
- ◇ 「3. 申請者本人の連絡先」E-Mailは、本プログラムに関するやり取りに使うため、添付ファイル等も受信できる利用し易いメールアドレスとすること。
- ◇ 「6. プログラム中の所属・学年」指導教員等氏名について、いない場合は「なし」と入力すること。いる場合は、「17. 指導教員への連絡」に了承を得た日付を入力すること。
- ◇ 「7. 成績評価係数」について、東京大学以外の高等教育機関で単位を取得した場合は学外成績証明書（成績評価基準が分かる部分を含むこと）を提出すること。なお、2025年4月入学者の場合、評価係数は「0.00点」と表示されるが、本部国際教育推進課での受領・確認時に換算するため、出願者による入力等は不要。
- ◇ 「13. 本プログラム参加を希望する理由」には、志望動機を日本語の場合400字程度、英語の場合250 words程度で記述すること。また、記載した字数／Word数を各自でカウントし、志望理由の末尾にカッコ書きで明示すること。
- ◇ 「14. 連絡先メールアドレスについて」は、UTAS上の指示に沿って確認・入力すること。

(4) 電子申請時に「18. 添付資料」でアップロードする書類については以下を参照すること。

応募書類	対象者	提出方法・備考
学外成績証明書（評価基準が分かる部分を含むこと）*PDF形式	該当者のみ	東京大学以外の高等教育機関で単位を取得した場合は提出すること。原本をもとに、「7. 成績評価係数」を入力すること。
語学能力証明書 *PDF形式		語学能力証明書を保持している場合は提出すること。
TOEFL iBT, IELTS	保持者のみ	電子申請時「9. 語学能力」で入力した場合は要提出（※1※2）。証明書が複数ある場合には、全て一つのファイル（PDF）にまとめて提出すること。
TOEFL iBT, IELTS以外		
英語能力試験等を受験していない場合	該当者のみ	電子申請時に「9. 語学能力」にその旨を入力すること。

（※1）語学能力証明書（TOEFL iBT, IELTS）（応募締切日時時点で、有効期限内のものとする。有効期限は各試験実施団体等のホームページ等の公式情報を参照のこと。）

次のいずれかの提出を受け付ける。

- TOEFL iBT または IELTS（アカデミック・モジュール）のスコアの写し（受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可）

（※2）語学能力証明書（TOEFL iBT, IELTS 以外）

TOEFL iBT または IELTS（アカデミック・モジュール）のスコアを所持していない者や、TOEFL iBT または IELTS（アカデミック・モジュール）のスコアに加えて他の語学能力証明書を持っている者は、以下のいずれかを提出することができる。

- TOEFL ITP、TOEIC、実用英語技能検定のスコアの写し。
- その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写し、および、その英語能力試験等に関する説明文書（様式任意）。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。
- 英語以外の語学能力試験のスコアの写し。

【電子申請応募先】

学務システム(UTAS)にログイン後、画面上部にある「海外派遣」のタブより申請すること(「プログラム申請の手引き」(UTokyo Accountでのサインインが必要)を参照すること)。

◇ 学務システム(UTAS): <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

◇ プログラム申請の手引き:

https://univtokyo.sharepoint.com/:f:/s/msteams_8b031a-32/Eo0DCi4LuCVAmZ8HRts2mP0BpNeQ1AQfBovXs_p37ATBsw?e=CYQUnb

【応募書類指定書式のダウンロード先】(UTokyo Accountでのサインインが必要)

https://univtokyo.sharepoint.com/:f:/s/msteams_8b031a-32/EsmQvkIm28dOjh8DXiPGT20BZDkd3BSVTI6knk14Bkizhg?e=7fY0bD

8. 応募締切

2025年6月4日(水) 17時(日本時間)

※本部国際教育推進課への問い合わせは6月2日(月)17時まで

9. 選考

- (1) 原則、選考は書類審査による。
- (2) 合否結果等についての連絡は電子メールで行うため、応募後は定期的に UTAS での申請時に記載した電子メールアドレスを確認すること。重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、注意すること。
- (3) 申請時に並行して他のプログラムへの参加を申請中、あるいは参加が決定している場合は、その旨 UTAS での申請時に「10. 併願状況」欄に記入すること。

10. 選考通過～プログラム参加の際の留意事項

- (1) プログラムへの参加が決定した場合、指導教員等の関係者には事前に連絡して伝えておくこと。
- (2) 事前オリエンテーションおよび AUW の学生との交流セッションに必ず参加すること。
- (3) やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、採否結果の受領前であっても遅滞なく本部国際教育推進課国際支援チーム(go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)に連絡すること。
- (4) プログラムの趣旨を理解のうえ十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了するよう努めること。
- (5) プログラム中に動画や写真の撮影があること、また、将来それらがグローバル教育センターの広報素材や本学の教育素材として使用される可能性があることを予め了承すること。

11. 事前オリエンテーション・AUW の学生との交流セッション

6月から7月にかけて実施される、事前オリエンテーション(対面形式)1回および AUW の学生との交流セッション(ハイブリッド形式※)1回に必ず参加すること。それぞれ 1 時間程度の実施を予定している。実施日時等は確定次第参加決定者に通知する。

※本学からの参加決定者は本郷キャンパス内の指定の教室に集まり、AUW とオンラインで繋ぐ予定。

12. 参加後の報告等

- (1) プログラム終了後に事後課題を提出すること。課題の詳細や提出期日等は別途指定する。

- (2) UTAS での応募時に記入した住所や電話番号、メールアドレスに変更があった場合は、本部国際教育推進課国際支援チーム (go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) へ連絡すること。プログラム終了後も必要事項の連絡の際に必要となるため留意すること。
- (3) 参加学生には、プログラム参加後、報告会や説明会への参加のほか、本学の国際化に関する業務への協力（留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等）を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。
- (4) 本プログラムへの参加は、国際総合力認定制度 Go Global Gateway の認定要件の1つである「④海外体験」としてカウントされる。他の認定要件を充足済みのもの・充足可能な者については、プログラム終了後に [Go Global Gateway のページ](#) から認定申請することを推奨する。

13. 問い合わせ先

電子メールで問い合わせる際には、必ず件名・氏名・学籍番号・所属・学年・電話番号を明記すること。

本部国際教育推進課国際支援チーム (go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

14. 参考情報

昨年度実施されたアジア女性大学との合同サマープログラム（2024/7/29～8/8 於東京大学）の様子は、東京大学グローバル教育センター（UTokyo GlobE）のウェブサイト上で公開されている。

・実施報告：https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/news/news_240809.html

・プログラムに関するメディア掲載記事：

https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/news/news_240813.html

https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/news/news_240801.html

(参考資料)

プログラムのスケジュール (2025/5/9 現在)

【講義のタイトルや担当講師など、プログラム内容の詳細は決定次第随時更新する。】

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
	July 28	July 29	July 30	July 31	August 1	August 2	August 3
8:30 - 10:00		Class 1	9:00-10:30 Class 3	9:00-12:00 Field trip to Everest	Class 5	Excursion	No classes
10:30 - 12:00		Class 2		International School Japan	Class 6		
13:00 - 14:30*	15:00-16:00 Orientation 16:00-17:00 Campus Tour	AUW: Japanese Class 1 UTokyo: Lecture on AUW & Bangladesh	12:00-17:00 Visit to Fast Retailing Co., Ltd.	AUW: Japanese Class 2	AUW: Japanese Class 3 UTokyo: Lecture on Bangladesh		
	17:00-18:30 Welcome Party	17:00-20:00 Film Night		14:45-16:15 Class 4	Activities with AUW students		
	August 4	August 5	August 6	August 7			
8:30 - 10:00	Class 7	Class 9	Preparation for the Symposium	Preparation for the symposium			
10:30 - 12:00	Class 8	Class 10					
13:00 - 14:30*	AUW: Japanese Class 4 UTokyo: Lecture on Bangladesh	AUW: Japanese Class 5		Symposium & Farewell Party (Reception)			
	17:00-20:00 Film Night						

*Japanese Classes 1-5: AUW からの参加学生が日本語の授業を受講する。

*Lectures on (AUW&) Bangladesh: 本学からの参加学生が AUW やバングラデシュに関する授業を受講する。